

Party

Vol.12

発行月：平成25年1月

旭川厚生病院広報誌



目次

1. 巻頭言
2. 診療科から
3. 連携医療機関・関係機関のご紹介
4. 総合相談センター便り
5. 部門紹介～臨床検査技術科



JA北海道厚生連の理念

JA北海道厚生連は、組合員ならびに地域住民の皆様生命と健康を守り、生きがいのある地域づくりに貢献してまいります。

病院の理念

私たちは「最も信頼され選ばれる」病院をめざします。患者さまの権利を尊重し、いつでも安心して受けられる医療の提供に努めます。地域住民の健康を守り、農村・地域社会の発展に寄与いたします。

基本方針

1. 患者様中心の医療と安全・快適な療養環境をつくります。
2. 高度医療を推進するとともに、総合周産期医療の確立に努めます
3. 健診事業の充実と高齢者福祉事業の取組みを推進いたします。
4. 医療機関相互の機能連携を推進いたします。
5. 職員の教育・研修を推進いたします。
6. 経営基盤の強化を図り、医療・保健・福祉活動を通じて地域医療に貢献いたします。

患者さまの権利

- 私たちは、患者さまの権利を大切に考えています。
1. 患者さまの権利を尊重いたします。
 2. 適切な医療を平等に受けることができます。
 3. 治療方法を選択することができます。
 4. 十分に納得いく説明をお求めにすることができます。
 5. 医療上の個人情報を守ります。
 6. 転院、紹介を希望される場合は、必要な情報を提供いたします。

巻頭言

【新年ご挨拶】

旭川厚生病院

院長 柴田 好



新年明けましておめでとうございます。

新たな年の初めを迎え、皆さまには輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃から旭川厚生病院をご利用いただきましてありがとうございます。

昨年は開院70周年を迎えました。病院は昭和63年に新築移転しましたので、この地では25年経ちます。新しい時代とともに病院の内部もリニューアルを行っています。

皆さんに見える外来では、採血の時間待ちでご不便をおかけしていた処置室を拡充いたしました。

また、混雑していた内科外来では血液腫瘍内科の外来を旧放射線科外来に移動することにより、混雑を解消いたしました。売店をコンビニの「ローソン」に、またコーヒーショップ「ドトール」になったことはご存じと思います。

皆さんに見えない部分では、循環器X線診断装置（心血管造影装置）を一新しております。また、レントゲンフィルムを必要としないデジタルシステムを挿入して写真の現像時間待ちを無くしました。北海道No.1のスライス数を誇る256スライスのマルチスライスCTを導入し、昨年9月3日から本格稼働を開始いたしました。回転速度が世界最速のCTであり、放射線の被曝量も少なく高速広範囲撮影が可能です。動きのある心血管撮影も対応できます。すでに心臓循環器診療に大きな力となっています。これまで患者さんに動きを強いていた大腸バリウム検査もこの装置に患者さんが動かななくても、撮影できるようになります。また大腸もバーチャル内視鏡検査として描出できるようになりました。

昨年は手術件数の増加、内視鏡手術に対応する

ために新しい手術室を1室増設いたしました。

特筆すべきは昨年10月に開設した緩和ケア病棟です。当院はがん拠点病院として道北で最初に指定を受けています。健診センターでの人間ドック、巡回検診を実施し、また、全身のがんを発見できるPET-CTも備えて、がんの早期診断には力を尽くしております。

しかし、手術や化学療法などの治療を受けた方のなかには、どうしてもがんの進行が止められず、再発して治療方法が無くなったりする場合があります。がんの痛みや、がんに伴う吐き気、不眠などの苦しさ、心のつらさなどを緩和することを目的とした病棟を必要とします。

そのために旧7階東病棟を全面的に改装し全室個室23室の新しい病棟をオープンしました。患者さんのご家族へのケアもできる限り行っています。付き添いは自由にでき、面会時間に制限はありません。病棟には台所とデイルームを備えて患者さんやご家族の方も使うことができます。

また、がんで在宅療養されていたりしゃる場合で、家庭の事情で一時的に短期間入院を希望される場合も、相談して受け入れることも行っています。

症状が緩和され、ご自宅に退院される場合は在宅療養を安心してできるように福祉サービスなどを利用して過ごせるように調整しています。

療養環境を改善し、加えて診療部門の整備拡充も行い、つねに医療機能の充実を図っております。今年も、「地域住民の健康を守り、農村・地域社会の発展に寄与する」病院を目指しております。

本年もどうかよろしくご挨拶申し上げます。

悪性リンパ腫について

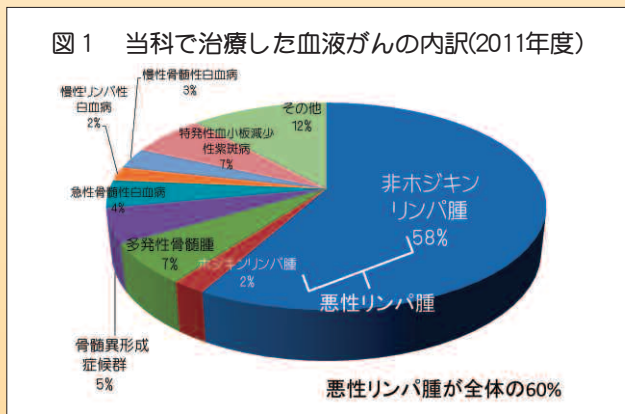


血液・腫瘍内科 佐藤 一也

初めに

悪性リンパ腫は、血液がんの中でも最も頻りに遭遇する疾患です。図1に2011年度の当科で入院治療した疾患を示しますが、悪性リンパ腫が全体の約60%を占めていました。

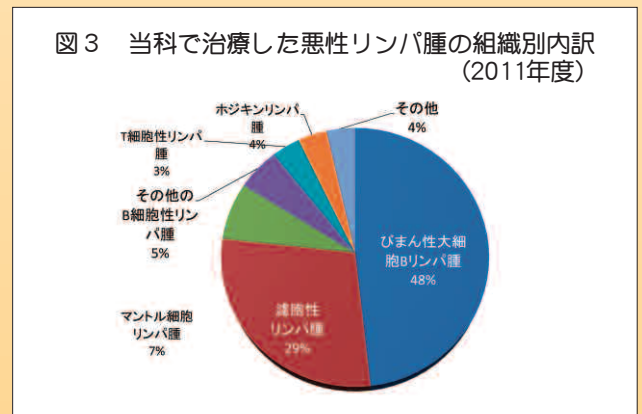
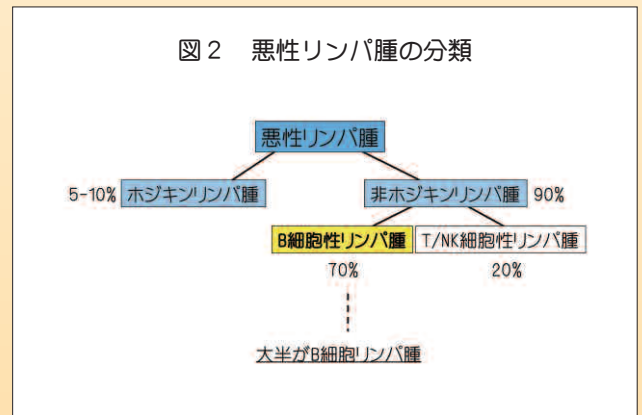
悪性リンパ腫は、適切な抗がん剤治療を行えば完治を期待できるがん種です。本稿では、悪性リンパ腫について、当科で行われる診断・治療をふまえて述べます。



分類

悪性リンパ腫は、ホジキンリンパ腫と非ホジキンリンパ腫に分類されます。図2に悪性リンパ腫の大まかな分類と、我が国における発症頻度を示します。非ホジキンリンパ腫が90%以上を占め、ホジキンリンパ腫は5-10%程度です。非ホジキンリンパ腫は、さらに細胞形質により、B細胞性リンパ腫と、T/NK細胞性リンパ腫に分かれ、それぞれ70%、20%を占めます。よって悪性リンパ腫の大半はB細胞性リンパ腫です。ホジキンリンパ腫は非ホジキンリンパ腫に比べて予後良好です。B細胞性リンパ腫やT/NK細胞性リンパ腫は診断がさらに細分化されますが、発症頻度の高い

リンパ腫は数種類に限られます。図3に2011年度に当科で治療した悪性リンパ腫の内訳を示します。全リンパ腫のうち、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫が48%、濾胞性リンパ腫が29%（いずれもB細胞性リンパ腫）を占め、この2種類で大半を占めています。



症状・検査値異常

一般的なものは、リンパ節腫脹（くび、わき、そけい、腹部リンパ節、縦隔リンパ節など）や、発熱・体重減少・寝汗などのB症状と呼ばれるものや、全身倦怠感、食欲不振など、あるいは、リンパ節以外に病変（節外病変）が出た場合は、そ

の部位により、腹痛、便秘、腹満感、黄疸、咳、皮膚腫瘍なども出現することがあります。検査値異常としては、LDH、CRPや可溶性IL2受容体の高値を認めることが多く、血球減少を来すこともあります。

診断

診断には、まず外科的にリンパ節生検を行い、病理診断する必要があります。また、治療方針の決定のためには、臨床病期分類を各種画像検査により確定する事が重要です。図4に悪性リンパ腫の臨床病期分類を示します。Ⅰ期は、1リンパ節領域に病変が限局するもの、Ⅱ期は病変が横隔膜の片側のみ（上側か下側のみ）で、2リンパ節領域以上に病変が存在するもの、Ⅲ期は、横隔膜をまたいでリンパ節病変が存在するもの、Ⅳ期は、リンパ節外病変（消化管、肺、肝臓、腎臓、皮膚、骨、骨髄、中枢神経など）に多発もしくはびまん性に病変が存在するものです。Ⅰ、Ⅱ期を限局期、Ⅲ、Ⅳ期を進行期と言います。

悪性リンパ腫の病期分類の決定のための検査には、CT、PET検査、骨髄検査、上部下部消化管検査などを行います。図5はCT検査で右えきか（わ

図4 悪性リンパ腫の臨床病期

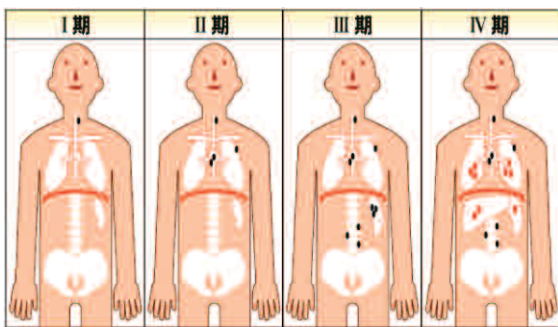
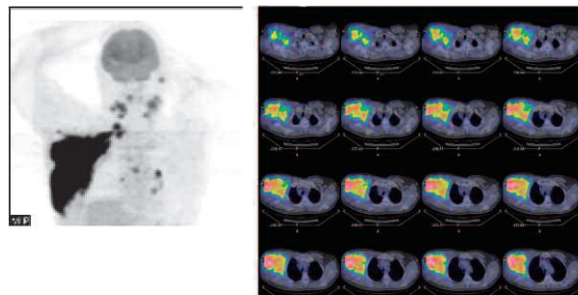


図5 CT所見：右わきリンパ節の腫脹



図6 PET所見



き)のリンパ節腫脹症例、図6は図5と同一症例のPET所見で、右わきのほか、くびや縦隔のリンパ節への取り込み所見を示します。

治療

ホジキンリンパ腫では、ABVD（アドリアマイシン、ブレオマイシン、ビンブラスチン、ダカルバジン）という4種類の抗がん剤を2週ごとに繰り返す治療（±放射線治療）を行い、限局期症例では約90%、進行期症例でも70-80%の長期生存が望めます。

非ホジキンリンパ腫ではCHOP療法（シクロフォスファミド、アドリアマイシン、ビンクリスチン、プレドニゾロン）を中心とした多剤併用療法が行われ、中でもB細胞性リンパ腫では、B細胞性リンパ腫に特異的に発現するCD20抗原を標的とした抗体療法（リツキシマブ：R）を併用したR-CHOP療法（±放射線治療）が行われ、生命予後の改善が図られています。特に最も頻度の高いびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の場合、限局期症例では約80%、進行期症例では30-40%の長期生存が得られます。一方、T/NK細胞性リンパ腫では確立された有効な治療法がなく、CHOP療法が行われますが、B細胞性リンパ腫に比べて予後不良です。

これらの治療によっても再発が認められた場合、治療強度を高めた化学療法（救済化学療法）が行われ再寛解を図ります。なお、比較的若年者（一般には65歳以下）の再発症例では、さらに強力な超大量化学療法を併用した自家末梢血幹細胞移植も行われます。

連携医療機関・関係機関のご紹介 第3回

当院の紹介と旭川厚生病院との関係

大田内科消化器科クリニック 大田 人可

当院の紹介

皆さんこんにちは。大田内科消化器科クリニックの大田です。

私は平成6年4月から平成14年3月まで厚生病院消化器科に勤務してありました。平成14年4月に当地（東旭川南1条1丁目）で大田内科消化器科クリニックを開業し、現在に至っています。早いもので10年が過ぎました。

内科・消化器疾患の患者さんを中心に、いろいろな疾患の患者さんに来ていただいております。

月曜・火曜は18時45分まで、木曜・金曜は18時まで診療しておりますので、仕事帰りに受診していただいている患者さんも多いです。

消化器系の検査として、経鼻胃内視鏡検査（鼻からの胃カメラ）、腹部超音波検査をしています。平成23年1月から経鼻胃内視鏡検査を行っていますが、口から比べて咽頭反射が少なく、鼻からの検査を希望する方が多いです。

私は、消化器疾患の中でも、肝臓を専門にしておりますので、今も、慢性肝炎や肝硬変の患者さんを多く診ています。B型肝炎やC型肝炎の抗ウイルス治療（内服薬、インターフェロン注射）も当院で行っています。

外来診療のかたわら、通院できない患者さんの訪問診療も行っています。昼休みや診療終了後の時間帯に訪問しているため、人数も限られていますが、これからも在宅での療養を希望する患者さんがいれば、ご協力したいと思っています。厚生病院の訪問看護ステーションとも連携しています。状態が悪くなって入院した方もいますが、ご自宅で看取った患者さんは年に3～4名います。

特別養護老人ホームの嘱託医、グループホームの定期訪問診療もしています。10月には、老人福祉施設協議会の介護職員の研修会があり、「介護に役立つ医療



の知識と看取り介護」というテーマで講演をしました。

旭川厚生病院との関係

開業当初、厚生病院時代にみていた患者さんに来ていただいて大変うれしかったことを思い出します。

また、患者さんを厚生病院に紹介するときは、以前勤めていた病院ということもあり、患者さんを紹介しやすく、「私が以前勤めていて信頼できる病院ですよ。」と一言付け加えています。いろいろな診療科の先生に患者さんを診てもらっています。いつもありがとうございます。

退職して10年以上が過ぎ、一緒に働いたことのある医師・職員もだんだんと減ってきてはいますが、8年間勤めた病院ですから思い入れはほかの病院とは違います。

最近、厚生病院の外来通院中で状態の落ち着いた近頃の患者さんを紹介していただくこともあります。しっかり診させていただいています。もし、新たな症状がでたり、定期的な検査が必要な時は、再度厚生病院に受診していただいています。

平成24年10月に厚生病院に緩和ケア病棟ができましたが、私が厚生病院に在職中の平成9年ごろに病棟でスタッフと一緒に「緩和ケア」の勉強会を始め、その後旭川市内の「緩和ケア」に興味を持つ医療関係者（医師、看護師、薬剤師など）に声掛けをして、旭川緩和医療研究会を立ち上げました。

あれから10数年がたち、緩和ケアの考え方は当時よりも広まってきていると思います。医療関係者の研修会や市民向けの講演会も最近では増えてきています。私も、厚生病院主催の緩和ケア研修会には、毎回講師として参加させていただいています。そんな中、厚生病院に緩和ケア病棟ができたことは感無量です。

今後も、日々の診療、在宅療養の面、緩和ケアの面それぞれで、厚生病院と密な関係を続けていくことができると考えております。今後ともどうぞ宜しくお願いします。

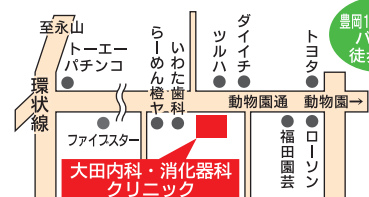


診療時間

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～18:00				○	○	
14:00～18:45	○	○				

●日曜・祝日は休診

〒078-8261 旭川市東旭川南1条1丁目2番7号
電話：0166-36-8338



第3回

総合相談センター便り

旭川厚生病院では、皆様の困っていること等の相談に対応するため『総合相談センター』を設置しております。また、地域の往診医やケアマネジャー、訪問看護師の方々と連携を取りみなさまの支援をおこなっていきます。今回は、平成24年10月に開設した緩和ケア病棟についてQ&A形式でお伝えします。

Q：緩和ケア病棟はどういう患者さんが入院できますか？

A：旭川厚生病院の緩和ケア病棟では、主に積極的治療の困難な終末期のがん患者さんを対象にお受けしています。

Q：緩和ケア病棟に入るために、どのような手続きが必要ですか？

A：緩和ケア病棟担当ソーシャルワーカーが窓口になります。お電話をいただき相談に応じます。

そして、患者さんやそのご家族に来院していただき緩和ケア病棟について説明を行い、病棟の見学をしていただきます。緩和ケア病棟について知っていただき入院を希望されるか再度確認していきます。正式なお受け入れは、緩和ケア病棟入院判定会議を行い、その会議で決めていきます。

Q：緩和ケア病棟の対応について教えてください。

A：まず、がんの進行に伴う痛みやつらさを和らげる治療を行います。そして、患者さん・ご家族の意思を尊重し残された時間をより良く過ごしていただくための支援を行います。がんの積極的治療や延命治療、蘇生は行いません。医療行為については、医師から患者さんやご家族に説明を行い一緒に決めていきます。これらの方針は事前にご了承いただきます。

Q：緩和ケア病棟に入院するとお金がかかると聞きました。いくらかかるのですか？

A：緩和ケア病棟は健康保険が適応されます。医療費は皆さんの健康保険の負担割合によって決まっています。また、高額療養費を利用す

ることもできます。医療費の他に食事代、テレビ・冷蔵庫利用料、病衣使用料がかかります。お部屋代は特別室を除き、無料です。

Q：面会は自由にできますか？

A：はい、面会は24時間自由に行うことができます。また、付き添いも届出を提出していただければいつでもしていただくことが可能です。

Q：緩和ケア病棟に入院すると、もう退院できないと聞いたのですが？

A：そんなことはありません。ご希望があれば外出泊、そして退院することができます。当院では退院支援の体制が整っていますので、退院時の支援を行うことができます。例えば、介護保険の手続き、訪問診療や訪問看護ステーションの利用について、電動ベッドや車いすのレンタルなどの調整を行います。

Q：お部屋はどのような感じですか？

A：お部屋は23部屋あり、すべて個室です。特別室が2部屋あり、1日8,400円のお部屋代がかかります。特別室以外は無料です。お部屋の中に、トイレ・洗面台・冷蔵庫・テレビ・ソファベッド・電動ベッドがあります。特別室は他にお風呂、机、電子レンジなどが設置されています。特別室はご希望の方にお入りいただきます。

簡単にしかお伝えできませんでしたが、緩和ケア病棟への入院につきましては、緩和ケア病棟担当ソーシャルワーカーまでご連絡ください。

電話：0166-33-7171（代）

MSW 乾（いぬい） 八反田（はったんだ）

臨床検査技師のお仕事



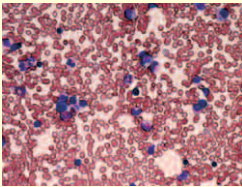
臨床検査技師は、人から採取された体液（血液・尿・便・喀痰など）、また細胞・臓器など直接人体から得られる情報を入手し、これらを分析することで、患者のそのときどきの体の状態を正確に把握し、病気の原因を探求することが重要な役割です。また、臨床検査は病気の診断・治療方針の決定・治療経過・予後の観察・副作用の監視になくてはならない重要なものです。

臨床検査は、大きく分けて『検体検査』と『生理検査』の2つに分類されます。検体検査は、一般検査、血液検査、生化学検査、免疫・血清検査、輸血検査、微生物検査、病理・細胞診検査などに、生理検査は、循環機能検査、呼吸機能検査、脳・神経系検査、超音波検査、聴力検査などに分類されます。代表的な検査の紹介をしたいと思います。

1. 一般検査

排泄物や、血液以外の体液・体腔液などを検体として、化学的、免疫・血清学的な分析や、顕微鏡による観察などが行われます。

2. 血液検査



種々の疾患や病態では、血液成分が変化し、健康なときに見られる性状と異なってきます。

「赤血球、ヘモグロビン」は貧血では減少し、「白血球」は、感染症では増加し、また白血病では、健康時にみられないはずの異常な白血病細胞が血液中出现したりします。

「血小板」は、出血を止めるのに重要な細胞成分です。

血液検査は血液疾患の他に、感染症や肝疾患などのような全身性疾患の検査としても重要な基本的検査です。

血液自動分析装置です。



3. 生化学検査

生化学検査は、血液や尿などの化学物質を定量的に分析します。体内の臓器（心臓・肝臓・腎臓・膵臓など）の状態を示す酵素（AST ALT LD CK AMYなど）や、蛋白質（TP ALBなど）、脂質（T-CHO TGなど）、無機質（Na K Cl Ca Fe Mgなど）、糖質（血糖 HbA1cなど）が測定され、病気の予防・診断・治療効果の判定に用いられます。

輸血用自動分析装置です。



4. 輸血検査

ABO式血液型やRh式血液型の検査をし、血液型を調べたり、手術などで輸血が自身に抗体がないか検査し、血液センターからの輸血用血液製剤を用いて交差適合試験を行い、安全な輸血のための適合を調べます。



5. 微生物検査

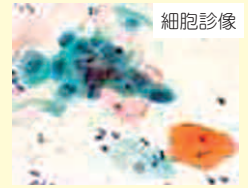
微生物検査では、感染症の有無を迅速かつ確に見極めるために、感染症を起こしたと考えられる起因菌の性状を調べます。また治療薬選択の指標となる薬剤感受性を検査し、感染症の臨床診断と治療に貢献しています。また、ウイルス検査では、迅速に抗原を検出しウイルスによる感染症の診断に用いられています。（話題のノロウイルス、RSウイルスなどの検査も行っています。



ブドウ球菌

6. 病理・細胞診検査

病理検査は、患者から採取した臓器・組織や、尿、喀痰、体腔液（胸水・腹水など）などの中に含まれる細胞の標本を作製し、適切な染色を行って形態学的な診断を行うための検査です。主として細胞診・病理組織検査・病理解剖が行われています。



細胞診像

7. 生理検査

生理検査とは、患者に各種の検査機器を装着して生体情報を測定し、記録する検査です。生理検査は機能検査と画像検査の2つの種類に分けられ、機能検査には主に、心電図・肺活量・脳波・ABRなどがあり、画像検査には、超音波・サーモグラフィーなどがあります。



心電図（心筋梗塞）

また臨床検査技師は診療の補助としての採血も業務の一環として認められています。採血については、政令で定められた部位（耳朶、指頭及び足蹠の毛細血管並びに肘静脈、手背及び足背の表在静脈、その他の四肢の表在静脈）から検査目的に限り採取をすることができます。外来では、検査技師が看護師さんと一緒に採血をしています。



JA北海道厚生連旭川厚生病院 外来診療体制表

平成24年8月1日 現在

受付時間

新患受付 午前の部 8:15~11:30 午後の部 12:45~15:00
 再来受付 午前の部 7:45~11:30 午後の部 12:30~15:00
 (診察時間 午前の部 8:30~ 午後の部 下記参照)

- 各診療科ごとに診療体制が異なります。
- 下記表の●が一般外来として受診可能な時間帯です。(△は予約制の一般外来です)
- 特殊外来は予約制です。下記特殊外来一覧をご参照ください。

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
血液・腫瘍内科	●		●		●		●			
代謝・内分泌内科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△
呼吸器科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△
消化器科	●	△ 特殊外来	●	△	●	△ 特殊外来	●	△	●	△
循環器科	●	△	●	△ 特殊外来	●	△ 特殊外来	●	△ 特殊外来	●	△
神経内科									●	
小児科	●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	特殊 外来
外科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△ 特殊外来
乳腺外科						△	第2・4	△	△	
呼吸器外科	●		●		●		●		●	
整形外科	●		●		●		●		●	
産婦人科(婦人科)	●		●		●		●		●	
産婦人科(産科)	●		●		●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	
皮膚科	●	● 14:00~	●	● 14:00~	●	● 14:00~	●		●	● 14:00~
形成外科		● 13:00~	●				●			● 13:00~
泌尿器科	●	△	●		●		●		●	△
耳鼻咽喉科	●		●		●		●		●	
眼科	●				●		●		●	
精神科	休診中									
麻酔科	●				●				●	
放射線科	●		●		●		●			
緩和ケア科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△

●特殊外来一覧

- 〔消化器科〕
- 肝臓(水) 13:30-16:00 (予約制)
 - 胆嚢(月) 13:30-16:00 (予約制)
- 〔小児科〕
- 慢性疾患(竹田津Dr) (毎月第3木) 13:30-16:30 (予約制)
 - 慢性疾患(月・火・木) 13:30-15:30 (予約制)
 - 予防接種(月) 13:30-15:00 (予約制)
 - 循環器(旭医出張医)(第2・第4水) 13:30-15:30 (予約制)
 - 1ヵ月健診(水) 13:30-15:00 (予約制)
 - 内分泌(毎月第2・第4木) 13:30-15:30 (予約制)
 - 発達(木) 13:30-15:30 (予約制)
 - 神経(月) 13:30-15:30 (予約制)
 - (木) 8:30-15:30 (予約制)
 - 乳児健診(火・金) 13:30-15:00
 - 乳児健診(佐藤Dr) (毎月第1木) 13:30-15:00
- 〔外科〕
- 乳腺検診(金) 13:00-16:00 (予約制)
 - ストーマ(第3金) 13:00-16:00 (予約制)
 - ” 【新患可】※
 - ストーマケア(金) 13:00-16:00 (予約制)
- 〔乳腺外科〕
- 乳腺外来(第2・第4木) 13:30-16:30 (予約制)
- 〔産婦人科〕
- 母親学級(火・木) 4回1コース 13:00-15:30
 - 産後1ヵ月健診(水) 14:00-16:00 (予約制)
- 〔神経内科〕 紹介患者のみ
- ※【新患可】以外の外来は予め午前外来受診となります。
- ※麻酔科の診察時間は9:30~11:30となります。
- ※小児科の内分泌外来は毎月第4木曜日で診察します。
- ※放射線科の金曜日午前は休診となります。



JA北海道厚生連旭川厚生病院

〒078-8211 旭川市1条通24丁目111番地3
TEL:(0166)33-7171 FAX:(0166)33-6075

●旭川厚生病院ホームページアドレス

<http://www.dou-kouseiren.com/byouin/asahikawa/>



※PCサイトへ接続されるQRコードの為、うまく表示されない場合があります。